仲夏
雪景雨
新牧蘭泉
上
へ13
2483
10

鏡鑠瓢簞
櫛峯梧桐

癸巳
新彫

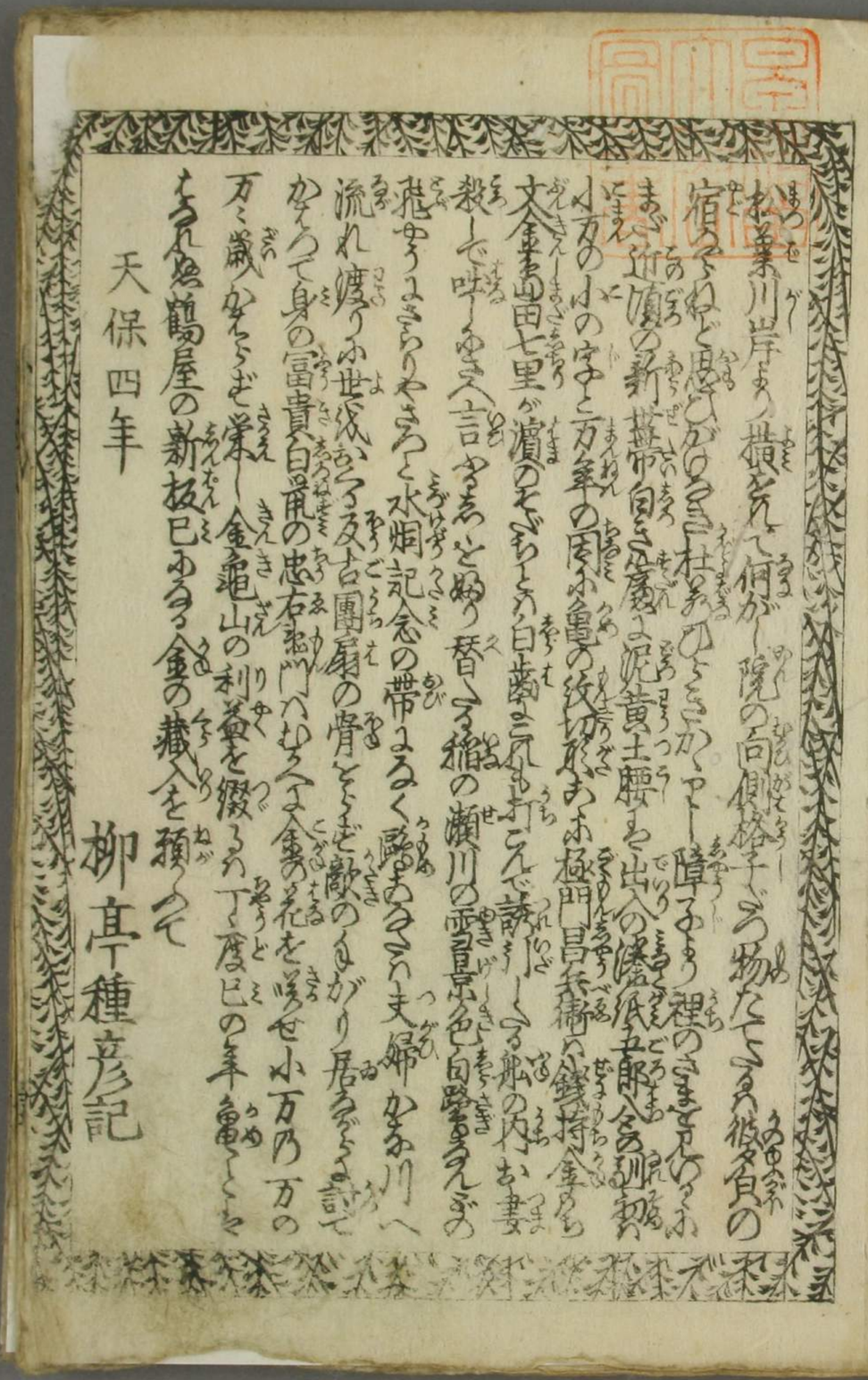
出世奴小万傳

全四冊
上の巻

柳亭種彦作
歌川國直画

仙鶴堂
壽梓

遠
2483
10



松葉川岸より横死して何がし院の向側格子ごう物たてうる彼岸の宿ごろもと思ひながらもこ杜のひとかやー障るまう裡のさまをたのうふまぐ近傍の新藩邸自ら屋敷の泥黄土腰ゐ出入の濠低五郎今あ川切小万の小の字と万年の周小亀の後切形おお極門昌兵衛の銭持金ち文金高田七里が濱のそぐちとの白歯三ん打こんで誘ひ殺しで叶ーゆきえ言ゆ者と盟り替へる稲の瀬川の垂景色白昼ちえぶの悲ゆうよさらりわさろと水烟記念の帯ようく感ゆるうい夫婦かるか川へ流れ渡りふ世伐いろる及古團扇の骨をそまど獣のるがり居ゐぐらる計でかそうて身の富貴白鼠の忠右衛門へむ入ゆ金の花を咲せ小万の万の万く歳かそうぢ栄ー金亀山の利益を綴るの丁度巳の年亀ーくそ
たるれ鶴屋の新板巳ゆる金の藏入を預ーくそ

天保四年

柳亭種彦記

奴小万
昔の
全盛
撥花
雨ぬれ
る
新月れい
泣てさろめ
人をこの〜〜
麝のケン吸れの香顔なくて
さび〜しきあざ〜しの口唇の
安さ〜ぶつさ〜
風ト女房二ゐろよ
絵画かも

奴小万
今の零落
照面盆為鏡
梳頭水作油

奴小万
末の幸福
嘉源氏
蝶と
むすめ
出雲
白

福
七福物
平

五
一人の男

五

六

右ふ作名画名を少しづゝ巻尾ゝ画とあふぎ一葉の画を三所小角ゆうのの戯れあり

柳亭種彦作
歌川國直画

天保四癸巳孟春　鶴屋喜右衛門板

御免江戸暦開板所　毎年十月下旬ごろ発売　仮名文字

載陽帖　南山禅師書　東海道四季和文章石摺　木曾海道

新撰日本名所之繪　唐紙摺一枚　蕙齋鍬形絵真筆

新撰女古狀揃園生竹　大本半紙本　両品出来　高井蘭山編撰

還魂紙料　柳亭種彦隨筆　古画入二冊

田喜菴輯　芦のしたもえ　幻住菴記・跋

蓑笠翁隨筆　玄同放言　初編二編共三冊　第三編三冊近刻

道法早筭用道中記　一枚摺

三敬莊木木校輯 芳艸集 全冊 板 閑居小町ちくぜん出羽陸奥甲斐信濃ゆかりの人々より俳合集東海道の名所旧跡を尋ねし時の句を集めし三百卷をあつめ筆者の

奴姿小袖

下の巻

種彦作

國直画

通油町

鶴屋開板

不情分香

小

五

瀧澤馬琴氏著

迎福南鐵録

一名相宅手引草　全部五冊　近刻

右同著

雅俗百傳奇

大本全五冊繪入　平假名附　近刻

女消息往来

画入　全一冊

暦日講釋

剣　全一冊　卜子先生著

俳諧今四歌仙

全一冊　梅宝　禾木　桐雨　小圃　四大人合作

追善 瀬川ぶし 全一冊 琴一通舎甘賀述 香蝶楼国貞画 一勇斎国芳画

消息往来詳註 高井蘭山述 全一冊

隅田川両岸覧北窓筆 袋入 絵本 全三冊

江戸名所東鑑 蕙齋筆 同 全三冊

江戸名所物見丘清長筆 同 全三冊

合則 寿福三世相大鑑 全一冊 東海道五十三次 花の都路 諸大人狂歌入 同 全三冊

拳獨秘書古 中本 袋入一冊 山櫻連々作 逸軒揺舟作

戯場頭微鏡 黙々漫隠作 同 上中下 三冊

教真草消息往来 山本八文字屋真草二體ふ書分ル 註書 繪圖註入 全一冊

右五通り共極上品にして七寸の袋に仕立 洗進物抔に致候ては 直売仕候

天保巳春新版書林地本問屋仙崎堂

傾城水滸傳第十二編 歌川国安画 四冊

百人一首童講譯 初編四冊 二編四冊 三編四冊 歌川国安画

年中行事五節供稚講譯 前八冊 後八冊 歌川国安画

浮世柳 亭種彦作 歌川国貞画 全四冊

浮世柳 亭種彦作 歌川国貞画 全四冊

三國志畫傳第五編 全八冊 歌川国安画

八夢・藤王傳記 全六冊 二代目十返舎一九作 歌川貞景画

國字水滸傳第十二編 全四冊 柳亭種彦校 歌川国芳画

花街雀 柳亭種彦校 歌川国貞画

竹夜遊 前四冊 後六冊 仙果譯

霞帶メ如月 全六冊 五柳亭徳升作 歌川国安画

星下梅花咲 全四冊 柳亭種彦作 歌川国貞画

春遊霞彩色 全四冊 柳亭種彦作 歌川国貞画

傾紫田舍源氏 九編 柳亭種彦作 歌川国貞画

書物錦繪 江戸通油町 團扇地紙問屋鶴屋喜右衛門